

「舞鶴引揚記念館 全国巡回展 in 横浜」

～引き揚げの記憶と平和への願いを世界へ！未来へ！～の開催について

舞鶴市では、忘れてはならない引き揚げの史実を後世に継承する事業として、引揚港の歴史を有する全国の都市と連携し、平成28年度から全国巡回展を開催しています。

今年度は、横浜市教育委員会の後援を得て開催することになりました全国巡回展の詳細が決まりましたのでお知らせします。

記

1 趣旨

舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留」と「引揚事業」に関する資料のユネスコ世界記憶遺産登録を契機として、世界的にも類を見ない引揚事業において、引揚者を受け入れた引揚援護局開設地及び引揚港としてその役割を果たした全国のまちとの連携協力を得て、薄れゆく引き揚げの歴史と平和の願いを国内外に発信する巡回展を開催する。

2 開催日程等

開催期間：令和3年3月17日(水) から 3月23日(火)まで(7日間)

開催時間：10時30分 から 19時 まで ※17日(水)は、11時30分開場。

※23日(火)は17時終了。

開催場所：横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース(神奈川県横浜市中区新港1-1-1)

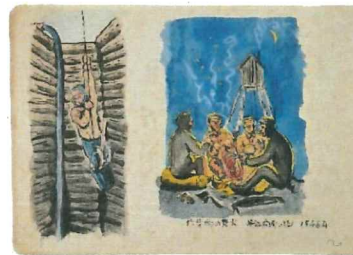
入場料：無料

3 展示概要

①「引揚事業」「シベリア抑留」に関する展示

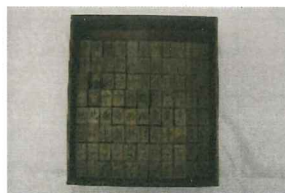
(1)ユネスコ世界記憶遺産登録資料(レプリカ)

- ・「白樺日誌」、抑留体験画、俘虜用郵便葉書、シベリア抑留者の帰還を待つ家族の資料



(2)シベリア抑留中に使用していた生活用品(原物資料)

- ・外套、帽子、手袋、ブーツ、麻雀牌、水筒、飯盒、スプーン



【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館

☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E - M a i l : hikiage@city.maizuru.kyoto.lg.jp



- (3)引き揚げのまち「舞鶴」の紹介(写真、パネル)
- (4)引揚事業、シベリア抑留について(パネル)
- (5)「引揚棧橋」とその付近にあった「歓迎塔(模型)」

②体験コーナー

シベリア抑留中の食事「黒パンの天秤ばかり」体験コーナー

抑留中の食料の分配を、黒パンと天秤ばかりの模型を使って体験



③ウズベキスタン抑留「～抑留から交流へ～」に関するパネル展示

- (1)海外引き揚げがつかなく「舞鶴とウズベキスタン」の縁の紹介(パネル)
- (2)ウズベキスタン抑留(パネル、タペストリー、実寸大のプレート)



- (3)平和の祭典「2020東京オリンピック」におけるウズベキスタンのホストタウン交流に繋がった経過の紹介(パネル)

④映像による紹介

- (1)引揚記念館制作動画「引き揚げを支えた人々の物語①端野いせ ②北田利 ③坂井仁一郎」の上映
- (2)「引き揚げのあゆみ」や引き揚げ犬となった「クロ」の実話をもとにした紙芝居「シベリアからやってきたクロ」の映像などを上映

4 新型コロナウイルス感染対策

- 来場時は、必ずマスクを着用し、手指アルコール消毒をお願いします。
- 体調不良(発熱、強いだるさ、咳、咽頭痛などの症状)方は、入場をご遠慮をお願いします。
- 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、再度日程変更や中止する場合があります。

5 その他

- 本事業は、令和2年度文化芸術振興費補助金(文化庁)を活用して実施する。
- 平成28年度は横須賀・呉・佐世保(3ヶ所)、平成29年度は函館、福岡、田辺(3ヶ所)、平成30年度は名古屋・始良(2ヶ所)、令和元年度は長門市(1ヶ所)で実施。

【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館

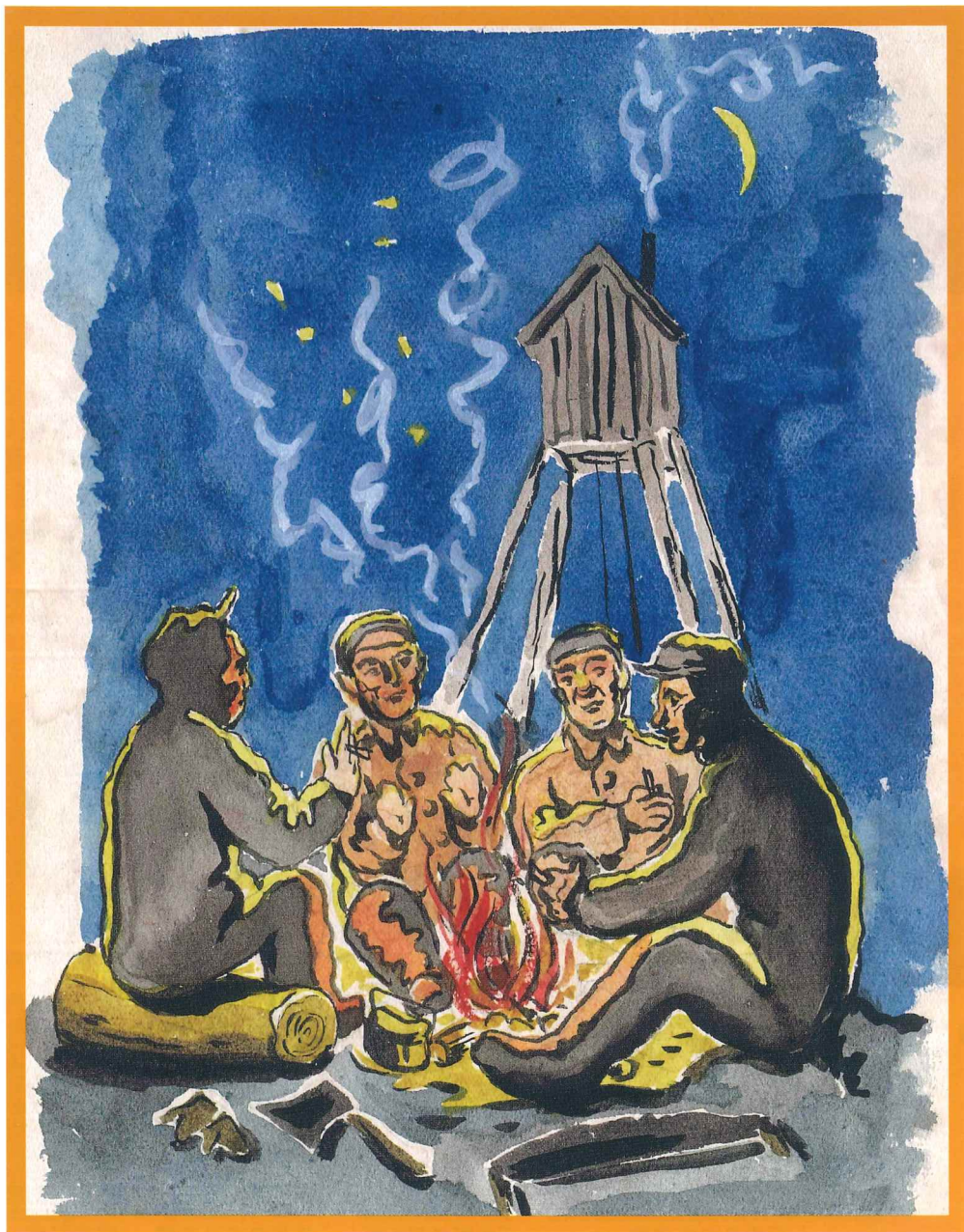
☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370

E - M a i l : hikiage@city.maizuru.kyoto.lg.jp



全国巡回展

in 横浜



舞鶴引揚記念館

ユネスコ世界記憶遺産 登録資料展示

2021.3.17 wed



2021.3.23 tue

10:30 ~ 19:00

※17日は11:30開場、23日は17:00に終了。

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館
2階スペース

住所：〒231-0001

神奈川県横浜市中区新港1-1-1

【主催】 京都府舞鶴市

舞鶴市世界記憶遺産保存活用推進委員会

【後援】 横浜市教育委員会

入場無料



舞鶴引揚記念館

〒625-0133 京都府舞鶴市字平 1584 番地
TEL.0773-68-0836 FAX.0773-68-0370
URL:m-hikiage-museum.jp



～引き揚げの記憶と平和への願いを世界へ! 未来へ!～

舞鶴引揚記念館 全国巡回展 in 横浜

本巡回展では、舞鶴市が所蔵する「シベリア抑留」と「引揚事業」に関する資料が平成 27 年 10 月にユネスコ世界記憶遺産に登録されたことを契機として、全国の引揚港との連携、協力のもと、薄れゆく引き揚げの歴史と平和の願いを国内外に発信する事を目的に開催しています。

第 2 次世界大戦の終結に伴い、60 万人を超える日本人がシベリアをはじめ、旧ソ連全土の 1800 か所以上の収容所に抑留され強制労働を強いられた史実や、海外に残された多くの軍人、民間人を帰国させるため、引揚港に指定されたまちが、海外からの引揚者約 630 万人を受け入れた史実について紹介します。



シベリアでの服装



白樺日誌



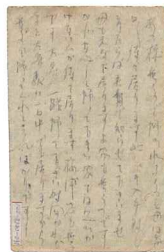
スケッチブック



回想記録絵画(作者:木内信夫)



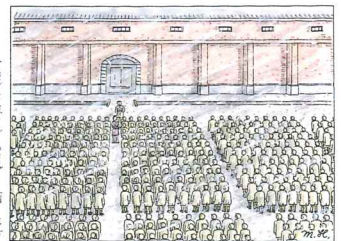
手作りの麻雀牌



『岸壁の母』が
息子に宛てた手紙



手作りのメモ帳



回想記録絵画(作者:羽根田光雄)



舞鶴引揚記念館について

舞鶴引揚記念館は昭和 63 年 (1988)、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生の再スタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受け設立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後世に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。戦後 70 年を迎えた平和 27 年 (2015)、その収蔵資料の中から 570 点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。

横浜赤レンガ倉庫 アクセス

電車でお越しの方

- ・ JR・市営地下鉄「桜木町駅」より自動車道経由で徒歩約 15 分
- ・ JR・市営地下鉄「関内駅」より徒歩約 15 分
- ・ みなとみらい線「馬車道駅」または「日本大通り駅」より徒歩約 6 分
- 「みなとみらい駅」より徒歩約 12 分

車でお越しの方

- ・ 首都高速横羽線を横浜方向へと進み、「みなとみらい」または「横浜公園」で下車。
- ・ 横浜ベイブリッジを渡る場合は、首都高速湾岸線を経由して「みなとみらい」にて下車。

